

## 劣化対策セミナーが開催されました！

3/20、上記セミナーの開催を知り、参加しました。住宅会社を含め 40 名弱の参加でした。防腐防蟻について、ホウ酸処理による木材保護を行う日本ボレイト株の説明が有りました。ホウ酸は昔から目薬として利用されており無害であり、持続性の長い処理方法であると強調されました。講演中、ミツバチの大量死や子供の脳発達障害に関係あるとされるネオニコチノイド系農薬が多くの防腐防蟻剤に含まれており、揮発性が高く、室内環境に悪影響があると言われる一方、持続性が無いからホウ酸処理の方が良いとの説明でした。よく理解できなかったもので、薬剤メーカーに問合せたところ、加圧注入に使われる ACQ や CUAZ という薬剤にはネオニコチノイド系農薬は含まれておらず、現場施工の薬剤に含まれているものが有るとの事でした。従って、現行、流通している注入材はあまり心配する事はないと思われます。薬剤の効能や問題点を勉強して施主様へきちんと説明できるようになりたいものです。

通気工法による劣化対策について日本住環境株の説明が有りました。石巻の仮設住宅で喘息患者が増えているという現状で、高気密高断熱の住宅では特に木材の劣化対策(防カビ)が大事との事。通気構法は・防水機能の確保・断熱性能の低下防止・壁体内結露の防止・湿気排出・防腐防蟻、等の効果を確保する。特に下屋やバルコニーの換気が不足している。小屋裏換気の必要面積の確保は防腐防蟻対策としても有効との事でした。

最後に JIO の瑕疵対策について説明があった。戸建て住宅の瑕疵事故の 95% が雨漏りであり、不具合箇所の 3 大部位は外壁・開口部・屋根、である。これを防ぐには毛細管現象の抑制・防水テープの確実な施工・シーリング材の正しい使用が重要

JIO では「防水施工ポイント」の研修会等も行うそうです。一緒に勉強しませんか。

### 【情報】

#### 「ホウ酸ゼミナール」のご案内

日時 5月17日(木) 10:30~16:30

場所 博多バスターミナル第5ホール

参加費 無料

今回の劣化対策セミナーの詳しい説明です。  
インターネットで「日本ボレイト株」に申込

#### 「液体ガラスの説明」

KITA 技術士事務所で開発した液体ガラスの紹介 DVD を入手しました。防腐防蟻および防災にも有効な商品として紹介しています。内容は「？」という感じですが、興味のある方には貸与可

### 【定休日】

4 月は 1, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 29 日となります

5 月は 3, 4, 5, 6, 13, 20, 26, 27 日となります

宜しくお願いします。

人体に、環境に負荷を掛けない薬剤を使用

薬剤の安全性は確認済み。

加圧注入処理では「マイトレック ACQ<sup>®</sup>」という薬剤を使用します。

マイトレック ACQ の主成分「塩化ベンザルコニウム (BKC)」と「銅化合物」、

安全性が確認されている物質です。

塩化ベンザルコニウムは医薬品で歯磨き粉やウェットティッシュ、洗濯用の柔軟剤、

病院で使用する消毒液など、私たちの身近に存在するたくさんの商品に使用されています。

また銅化合物は 10 円玉などの銅貨をはじめ、調理器具などに用いられています。

私たちの身体に直接触れ、住宅内で日常的に用いている

非常に馴染み深い物質が主成分となります。

※ JIS K1570 規格品



環境に配慮した化学製品として表彰されました

2002 年 6 月 24 日、コシブレイザービンの提携企業で、マイトレック ACQ の共同開発を行った CSI (現パイアンス社) が、米国環境保護局 (EPA) によって 2002 年グリーンケミカルチャレンジ大賞銀賞を授与されました。「グリーンケミカル」とは、「人にやさしく、環境に配慮した化学製品」といった意味です。マイトレック ACQ の原料はリサイクルのスクラップから抽出され、製造・輸送・使用・廃棄における有害物汚染を防ぐことができることから、新しい世代の緑建築材だと紹介されています。



マイトレック ACQ 処理液の LD50 値について

右表は、ラットを使った経口毒性調査 (LD50 値) でマイトレック ACQ 処理液を他の様々な化合物と比較したものです。LD50 値とは急性毒性を表す値で、体重 1kg あたりどのくらいの量を摂取するとラットの死亡数・生存数が半々になるかという調査です。1kg あたり摂取した化合物の値が小さくなるほど、危険性が高いといえます。マイトレック ACQ 処理液はというと、砂糖とはほぼ同等の値を示しており、安全性が高いといえます。

化合物	ラット経口 (LD50)	危険度
砂糖	29,700mg/kg	低い
マイトレック ACQ 処理液	29,000mg/kg	↑
食塩	4,000mg/kg	
カフェイン	192mg/kg	
ニコチン	3.3mg/kg	高い

ラットを使った経口毒性調査 (LD50) の結果

ACQ の安全性

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)